

クーリングシステム事業部

相沢 吉彦

Yoshihiko Aizawa

現在の情報化社会を構成する通信機器、サーバ、パソコンなどは、依然として小型化・高性能化が進んでおり、同時にそれら電子機器の熱対策は重要課題となっている。こうした熱問題のソリューションとして、クーリングファンには高風量高静圧化・低騒音化・低消費電力化、さらに環境

適合への対応などが求められている。

以下に2005年のクーリングシステム事業部の主な技術成果を紹介する。今後も環境への適合を実現しながら、より一層の高性能化を目指した技術開発・製品開発を継続し、最適な製品を市場に提案していく所存である。



■ 「San Ace 40」(サンエース40) GVタイプ

当社従来品に比べて最大風量を15%向上させ、かつ消費電力を15%低減した。「PWMコントロール機能」を付加できる(オプション)。

用途:サーバ、ストレージシステム、コピー機、通信機、各種産業機器など



■ 「San Ace 40」(サンエース40) CRAタイプ

当社従来品に比べて最大風量を28%、最大静圧を26%向上させ、かつ消費電力を40%低減した。最大風量時の音圧レベルは62dB(A)に抑えている(Jスピード品)。「PWMコントロール機能」を付加できる(オプション)。

用途:1Uサーバ、ストレージシステム、通信機器、各種電源、各種産業機器など
詳細は、本テクニカルレポートの特集記事で紹介する。



■ 「San Ace 120」(サンエース120) SGタイプ

当社従来品と比べて最大風量を40%、最大静圧を50%向上させた。最大風量時の音圧レベルは64dB(A)である。「PWMコントロール機能」または「電圧指令コントロール機能」を付加できる(オプション)。

用途:コンピュータ、サーバ、ストレージシステム、通信機、各種製造装置など



■ 「San Ace 172」(サンエース172) GVタイプ

当社従来品に比べて最大静圧を66%向上させ、かつ消費電力を20%低減した。最大風量時の音圧レベルは74dB(A)に抑えている。「PWMコントロール機能」を付加できる(オプション)。

用途：通信機、サーバ、ストレージシステムなど

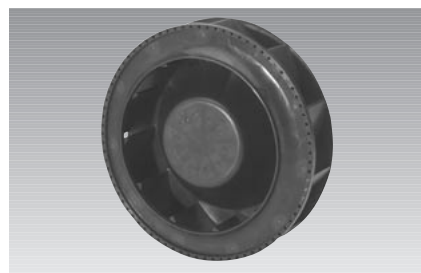
詳細は、本テクニカルレポートの特集記事で紹介する。



■ 「San Ace 220」(サンエースC220)

当社初の遠心ファンであり、サイズはφ220mm 71mm厚である。最大風量18.5m³/min、消費電力100.8W、最大風量時の音圧レベル71dB(A)は、いずれも業界一の性能である。

用途：通信機、大型サーバ、ストレージシステムなど



■ 「SAN ACE MC」(サンエースMC) (PWM, 温度可変)

Intel(*) 775-land LGA Package の冷却に対応しており、ファンとヒートシンクの新規開発を行い、業界トップクラスの冷却性能と低騒音を両立させている。当社従来品に比べて冷却性能を同等としたときの比較では3dB[A]低騒音化、音圧レベル同等時の比較では3.6%の冷却性能向上となる。定格回転速度が

3900 min⁻¹の時の熱抵抗は0.266K/W、音圧レベルは42dB(A)である。

温度に応じて回転速度をコントロールする「温度可変速機能」と、外部からファンの回転速度をコントロールする「PWMコントロール機能」を備えている。

用途：Intel 775-land LGA Package 対応
* Intel はIntel Corporationの登録商標



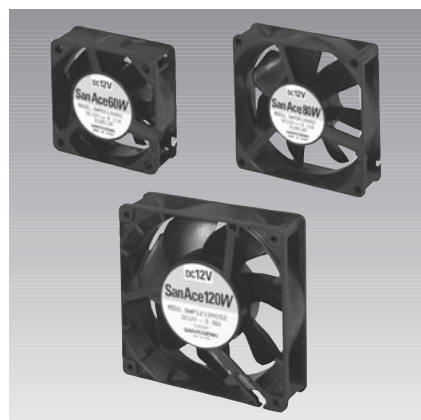
■ 防水ファン「San Ace」(サンエース) Wシリーズ WPタイプ

「San Ace 60W」60mm角25mm厚ファン
「San Ace 80W」80mm角25mm厚ファン
「San Ace 120W」120mm角38mm厚ファン

多方向からの水の直接噴流を受けるような厳しい環境下でも安定した動作を保つ、IP55の防水性能を備えた防水ファンWシリーズ WPタイプを開発した。樹脂フレームを採用することで、従来品に比

べ、サンエース80Wは30%、サンエース120Wは12%の質量低減を果たした。

用途：ソーラーインバータ、屋外設置機器、各種製造装置など



相沢 吉彦

1989年入社

クーリングシステム事業部 設計部
ファンモータの開発、設計に従事。